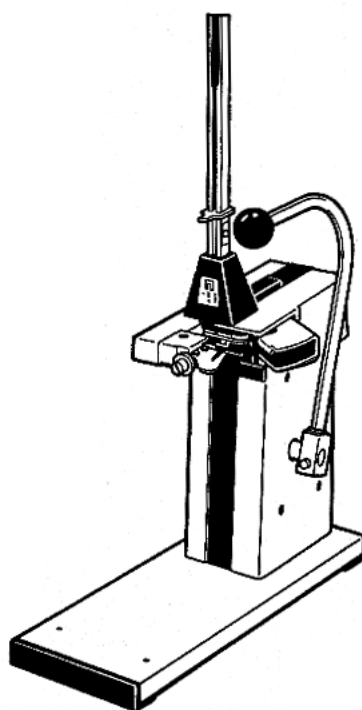


マックス袋とし機

パッカー HR-PSII

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- 袋の挿入口・カバー内部・カッタ部に絶対に指を入れない。
- 移動する時には、絶対にマガジンを持たない。
- 安定した台に必ず固定する。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機を絶対に改造しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上ため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックスパックナーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

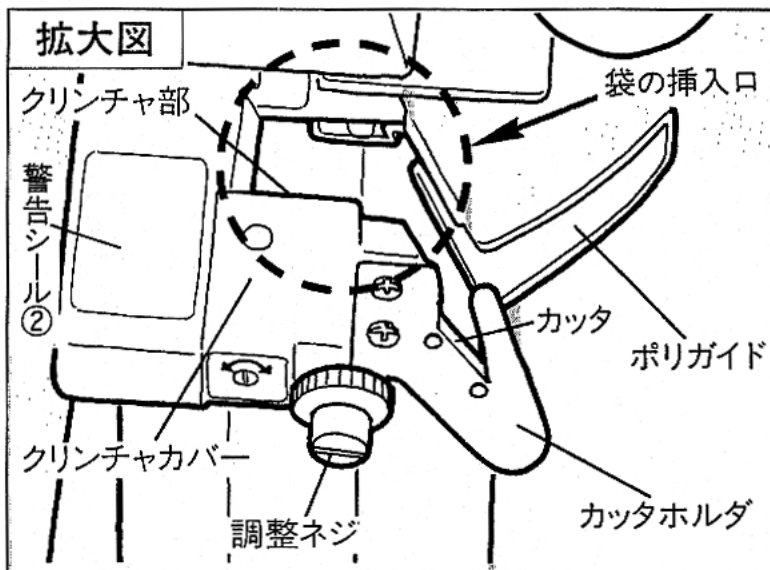
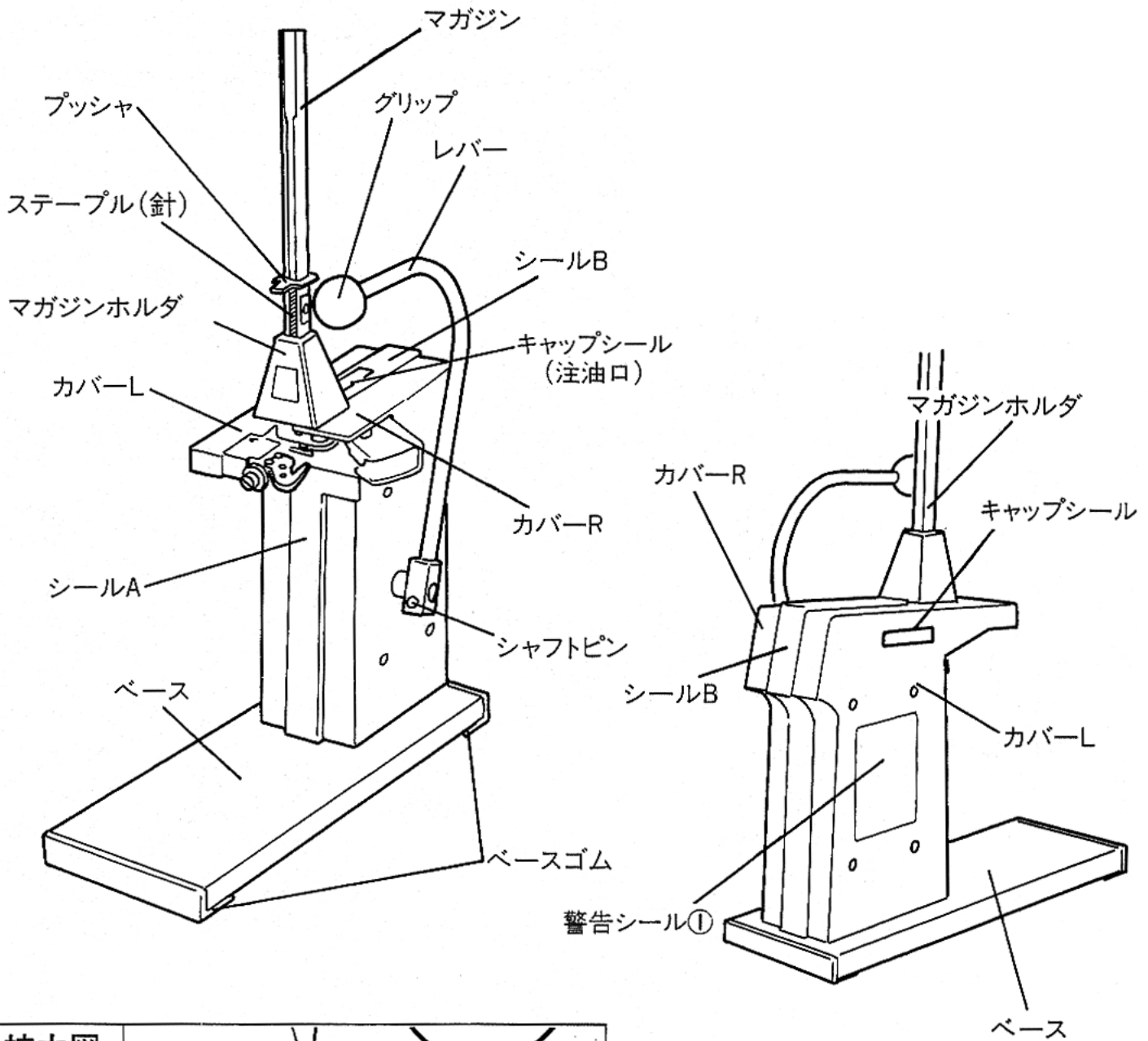
⚠ 注意：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合を表しています。
また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目 次

| | |
|------------------|----|
| 1. 各部の名称 | 1 |
| 2. 安全作業のために | 2 |
| 3. 仕様及び付属品 | 5 |
| 4. 組立・固定方法 | 6 |
| 5. 使用方法 | 7 |
| 6. ステープルづまりの直し方 | 9 |
| 7. カッタ及びグリンチャの交換 | 14 |
| 8. 性能を維持するために | 15 |
| 9. 分解見取図・部品表 | 17 |

全国販売拠点、サービス拠点一覧

各部の名称



⚠ 警告

安全作業のために

本機は、ビニール袋、ネット袋などの袋の口をステープルで結束することを目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

① 安定した台に必ず固定する。

本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、必ず安定した台を使用してください。また、作業中に本機が動いたり、倒れたりすることのないよう、付属のクランプで固定してください。

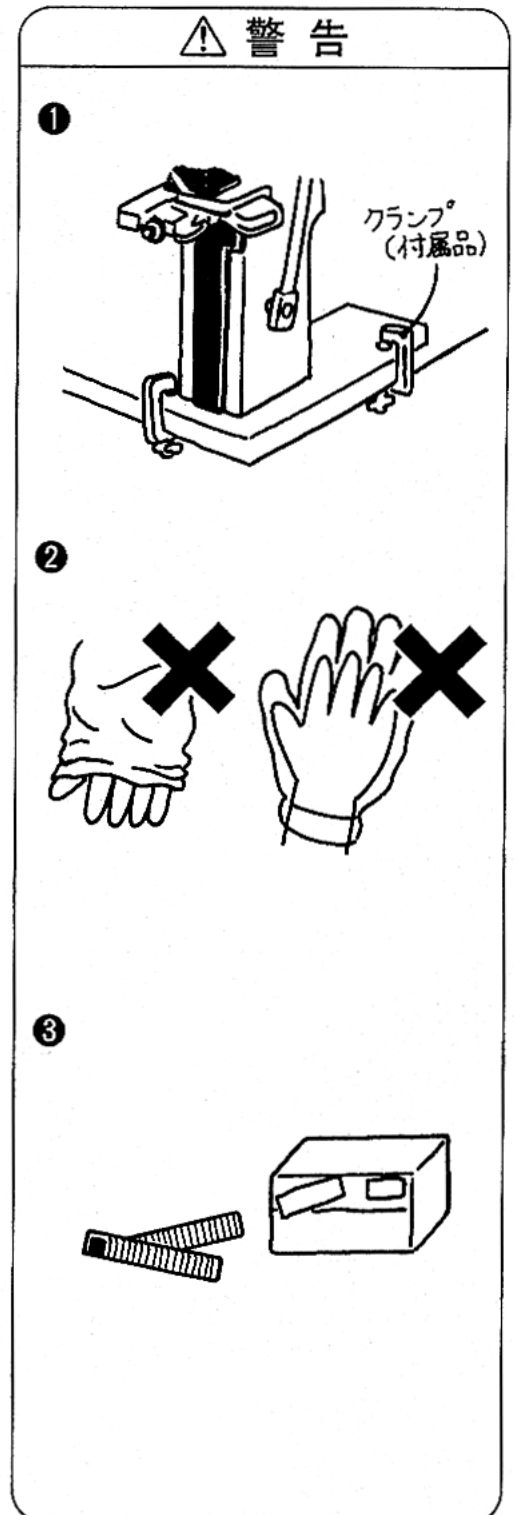
固定は、必ず作業前に行ってください。

② 作業環境に応じた服を着用する。

作業のじゃまになったり、機械にはさまれたりすることのないような服・手袋等を着用してください。

③ 指定のステープルを必ず使用する。

指定されたステープルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープルをご使用ください。(3.仕様及び付属品参照)



⚠ 警告
安全作業のために

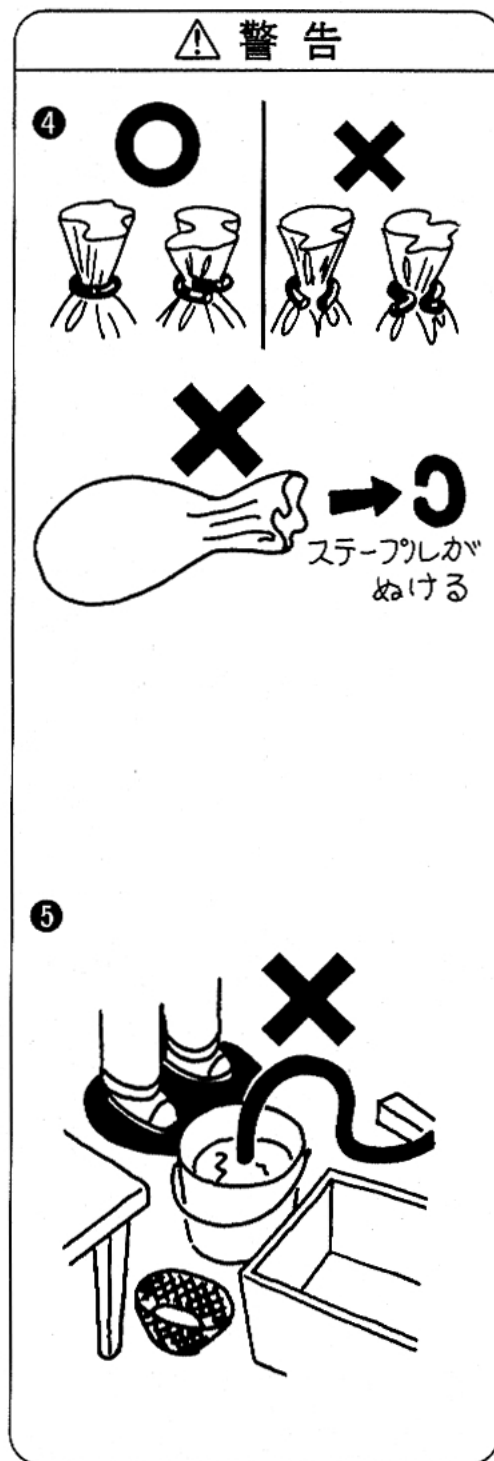
④使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前に品物を入れない空の袋を挿入し、本機が正常に作動するか確認してください。そのときに、袋をとじているステープルの形状が図④の正常な状態になっているか、又、ステープルが袋から抜けぬか確認してください。

とじ具合が「きつい」又は「弱い」場合には、5.④締付け力調整の手順（11ページ）に従って調整してください。又、単純に「きつい」「弱い」という状態ではなく、形状が異常だったり、機械が正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⑤作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして、思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



作業中

- ①袋の挿入口（袋を挿入・結束するところ）・カバー内部・カッタ部に絶対に指を入れない。

袋の挿入口・カバー内部は、ドライバ・スライドドライバガイド・ポリガイド等の部品が作動しているところです。また、カッタ部にはカッタがあり、危険ですから絶対に指を入れないでください。

- ②2度打ちは絶対にしない。

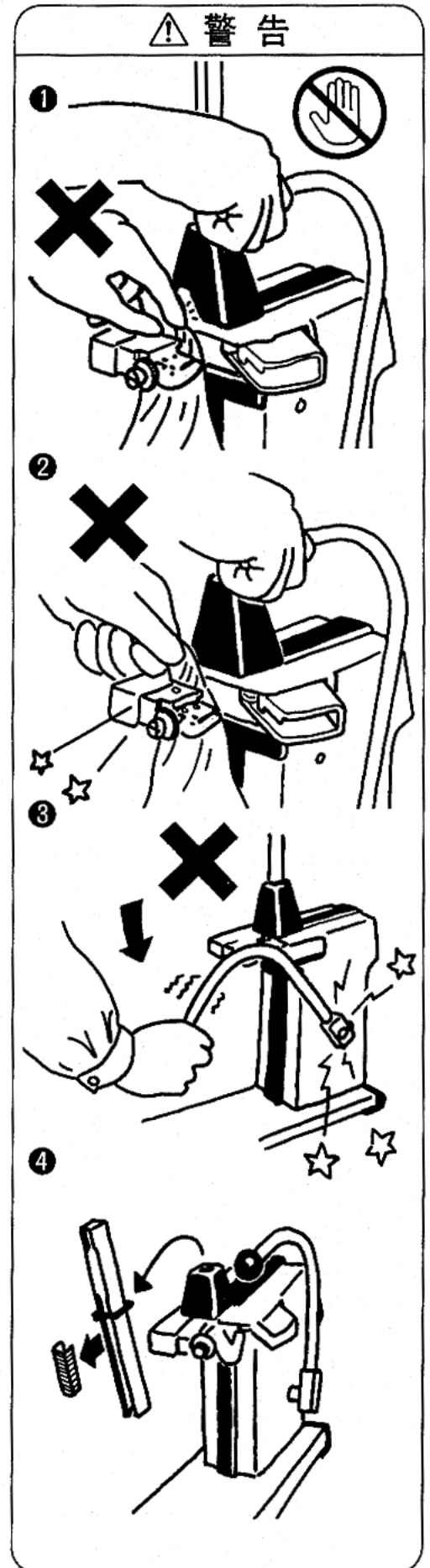
2度打ち（クリンチャ部又はステープルの通り溝にステープルが残っている状態で2重にステープルを打つこと）をすると、本機の破損やトラブル（ステープルづまり等）の原因となります。

- ③レバーを無理に動かさない。

レバーが止まる位置よりも無理に押し下げたり、ステープルがつまった場合に無理にレバーを動かすと、本機の破損やトラブルの原因となります。絶対にしないでください。

- ④移動する時は、絶対にマガジンを持たない。

本機移動の時、カバー・マガジン等を持って移動すると、損傷する場合があります。思わぬ事故につながります。危険ですから必ず、ステープル及びマガジンを抜いた後、グリップの底を持って移動してください。

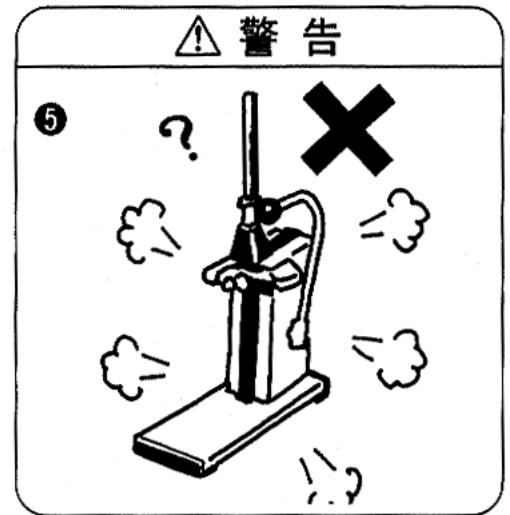


⚠ 警告

安全作業のために

⑤異常を感じたら絶対に使用しない。

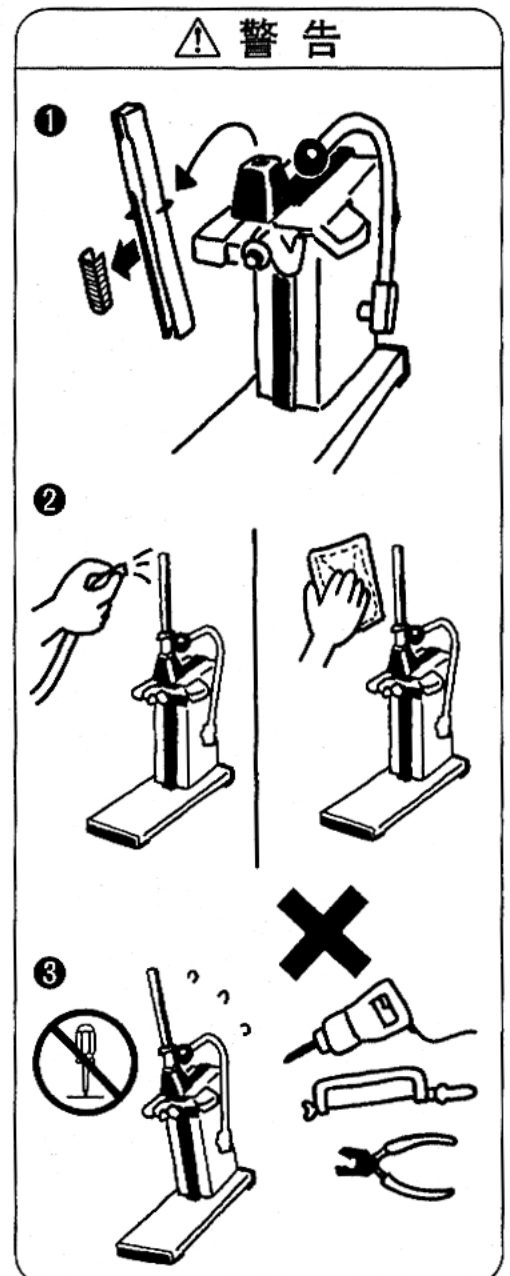
作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



作業後

①作業終了・修理の時には必ずステープル及びマガジンを抜く。

作業終了・機械の修理の時には、必ずステープル及びマガジンを抜いてください。抜き方については、5.⑤ステープル及びマガジンの抜き方の手順（11ページ）に従ってください。



②本機を清掃する。

作業終了の時には、本機の性能維持・故障防止のため、8.⑤清掃の仕方の手順（16ページ）に従って、必ず本機を清掃してください。

③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

3

仕様及び付属品

| | |
|-----------|--|
| 商 品 名 | マックス袋とじ機 パックナーHR-PSII |
| 商 品 記 号 | HR-PSII |
| 寸 法 | (W) 162×415 (L)×635 (H) mm |
| 重 量 | 6.0kg |
| 使用ステープル | 711VO-AR・713VO-AR |
| ステープル装填数 | 150本 (3連) |
| 使用オイル | パックナーオイル |
| ス ペ ア 部 品 | クリンチャ (1ヶ) |
| 付 属 品 | クランプ(2ヶ)・スパナ(1本)・六角ナット(2ヶ)・ バネ座金(2ヶ)・パックナーオイル(1本) |

※パックナーオイルは別売品です。付属品の
パックナーオイルを使い終わりましたら、
お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱
でお買求めください。



4 組立・固定方法

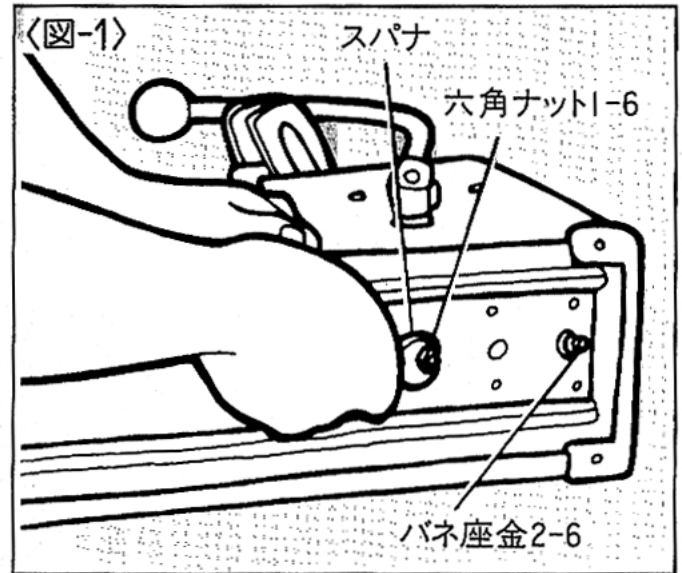
⚠ 警告

●安定した台に必ず固定する。

① 本体とベースユニットの組立

本体底面の2つのボルトをベースユニットの穴に差し込み、バネ座金・六角ナットを入れ、付属のスパナで強く締め付けてください。

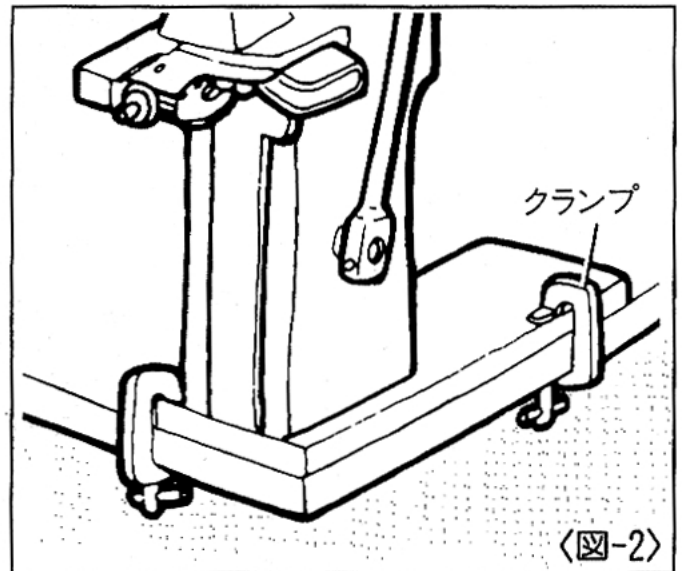
〈図-1〉



② 本機の固定

本機の設置位置が決まりましたら、安定した台に付属のクランプで固定してください。

〈図-2〉

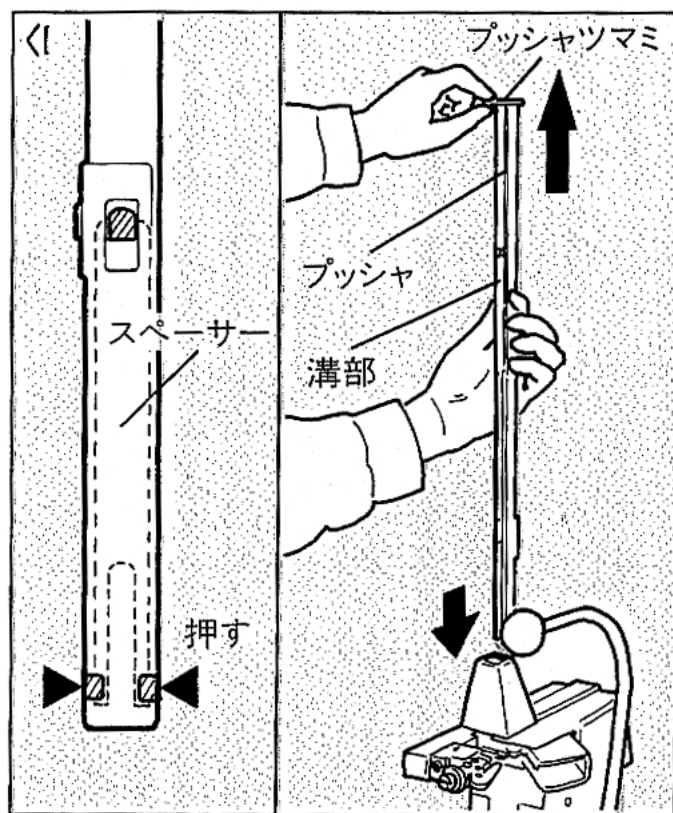


5 使用方法

① マガジンのセット

1) マガジンは711ステープル用にセットしてあります。713ステープルを使用する時は、マガジン下部の赤いスペーサを取りはずしてください。〈図-3〉

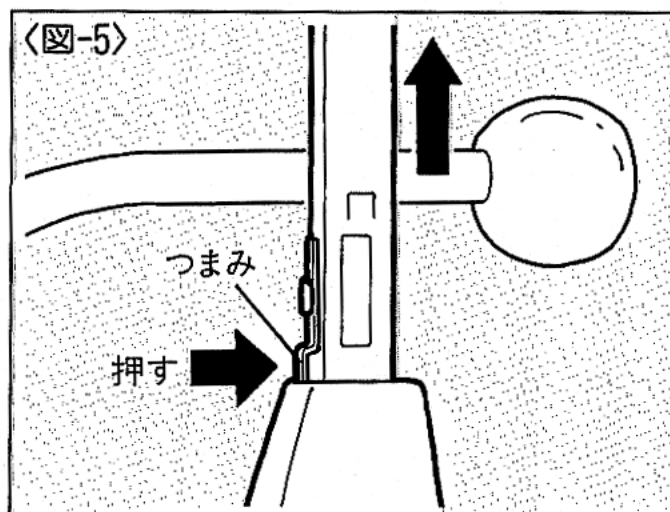
2) プッシュヤツマミを持ち、プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、マガジンの溝部が本機の開口部側になるようにしてマガジンホルダの穴に入れ、“カチン”と音がするまで差し込みます。〈図-4〉



3) マガジンを抜く時は、プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、つまみを押し引き抜いてください。

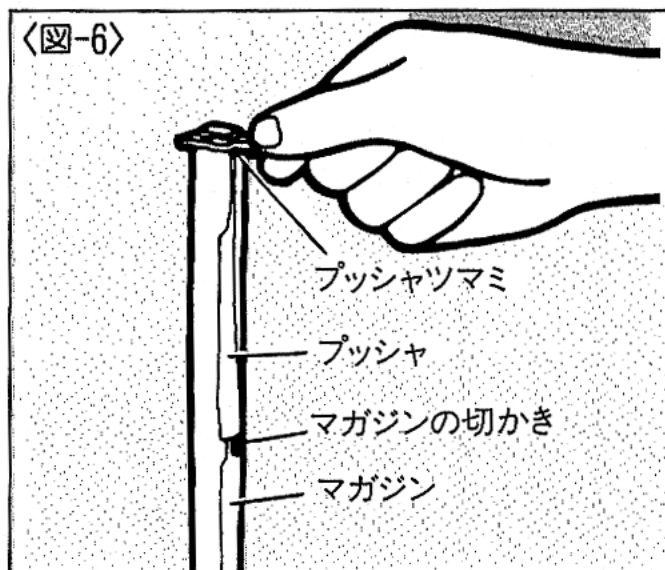
〈図-5〉

※ステープルが入った状態ではつまみは押さないでください。



※プッシャは、マガジンの最上部まで持ち上げ、プッシャの底面をマガジンの切かきに止めると、一時的に固定できます。

〈図-6〉



②ステープルの装填

⚠ 警告

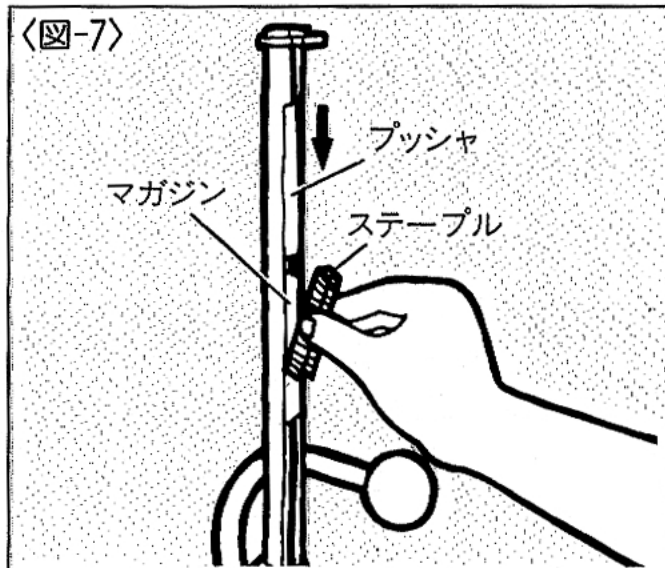
●指定のステープルを必ず使用する。

※3.仕様及び付属品(6ページ)参照

1)プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げたまま、ステープルの足が本機の開口部側にくるようにして、マガジン内に装填してください。 〈図-7〉

1度の装填数は、3連(150本)までです。

2)ステープルの装填が終わったら、プッシャを静かに下げてください。



③袋とじ・カット方法

⚠ 警告

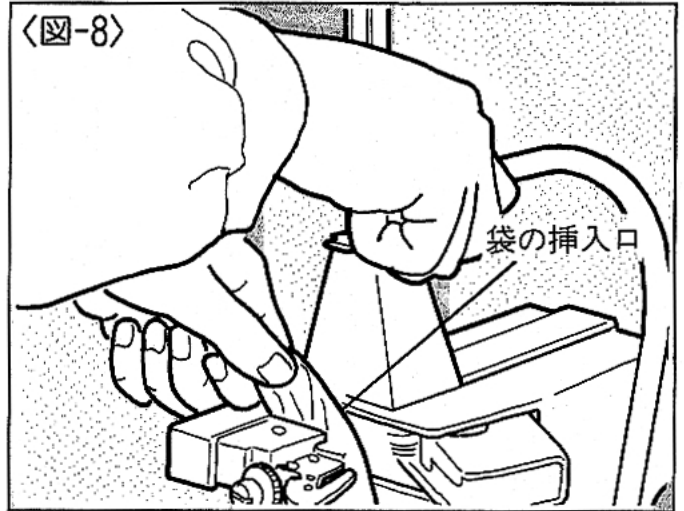
- 使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 袋の挿入口・カバー内部・カッタ部に絶対に指入れない。
- 2度打ちは絶対にしない。
- レバーを無理に動かさない。

使用前に必ず正常に作動するか確認してください。

1)品物を入れない空の袋をよくねじり、開口部に入れ左側へ寄せてください。

〈図-8〉

2)レバーをゆっくり、とまるまで押し下げるととじられます。

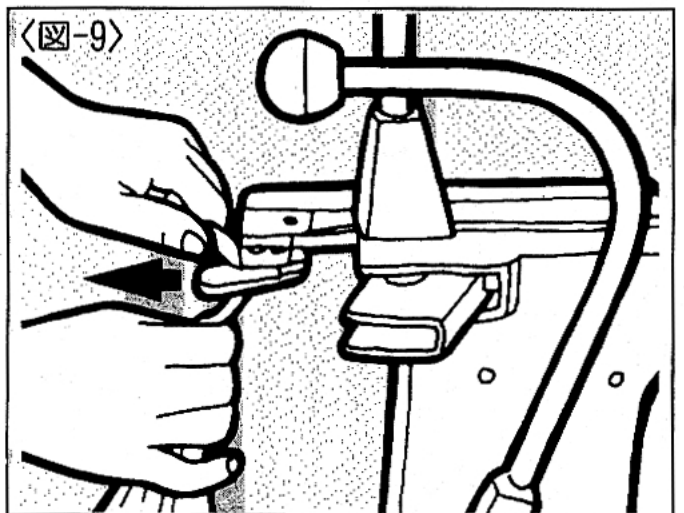


⚠ 注意

- レバーは必ず最後まで(とまるまで)押し下げる。
途中でとめるとトラブル(ステープルづまり等)の原因となりますので、絶対にしないでください。

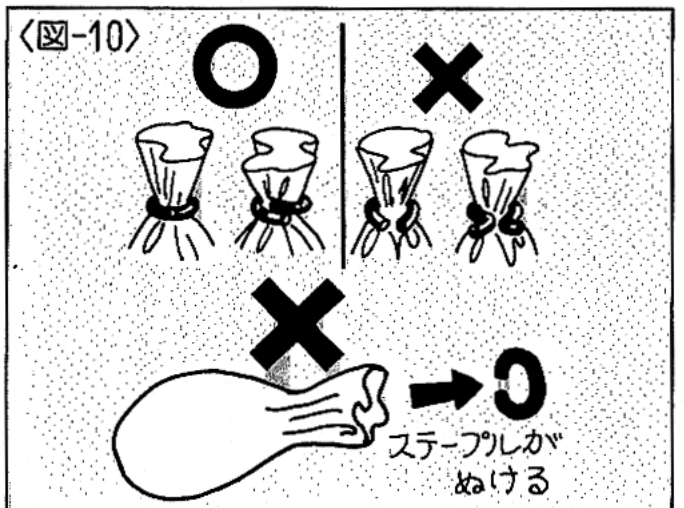
3)余分な部分をカッタで切り取ります。

〈図-9〉



4)とじ終わった袋を取り出したら、袋をとじているステープルの形状が図のような正常な状態になっているか、又ステープルが袋から抜けないか確認してください。とじ具合が「きつい」又は「弱い」場合には次の④の手順に従って、締付け力を調整してください。

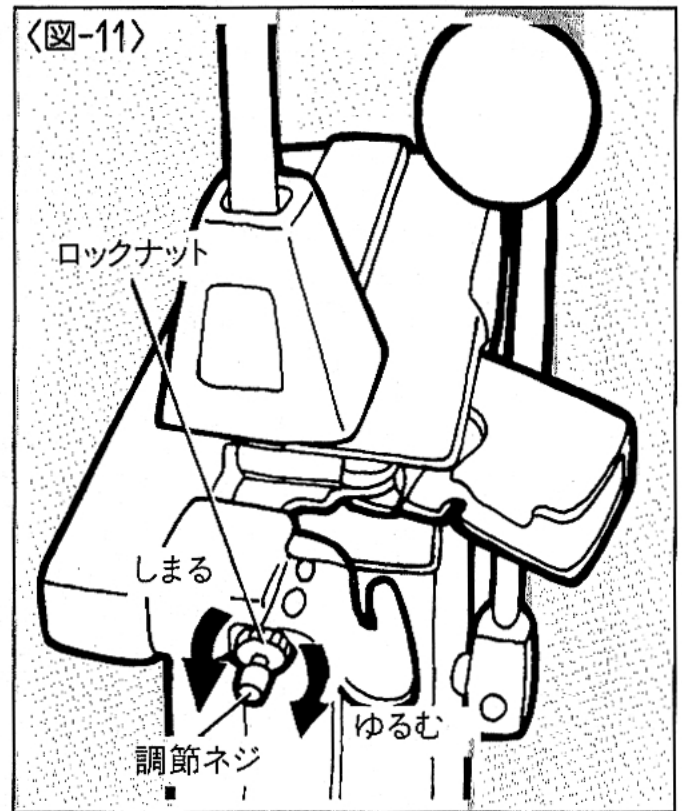
〈図-10〉



④ 締付け力調整

③に従って袋とじを行った結果、袋のとじ具合が「きつい」場合（例：袋がやぶれ水もれする）は、調節ネジを右へ回し、「弱い」場合（例：ステープルが袋から抜ける）は左へ回して調整してください。

〈図-11〉



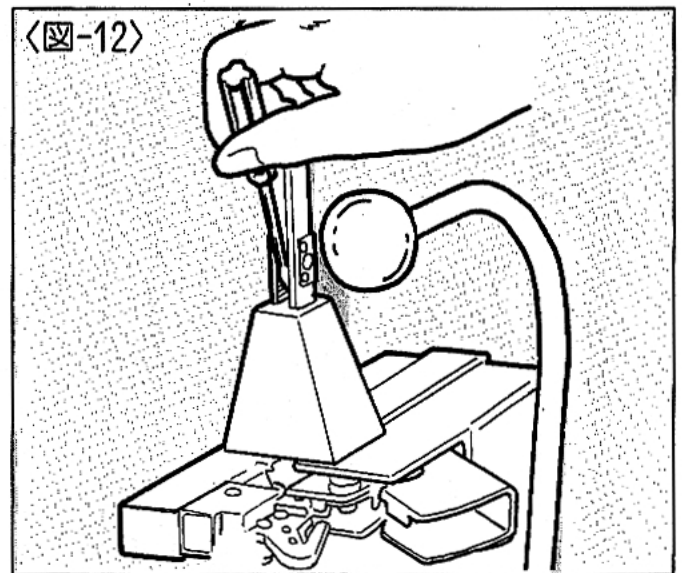
⑤ ステープル及びマガジンの抜き方

⚠ 警告

●移動する時、作業終了・修理の時は必ずステープル及びマガジンを抜く。

1) プッシャをマガジンの最上部まで持ち上げ（〈図-6〉9ページ参照）、ドライバ等の工具を用い、ステープルを抜きとります。

〈図-12〉



2) 5.①3)に従い、マガジンを抜きます。

〈図-5〉8ページ参照

6 ステープルづまりの直し方

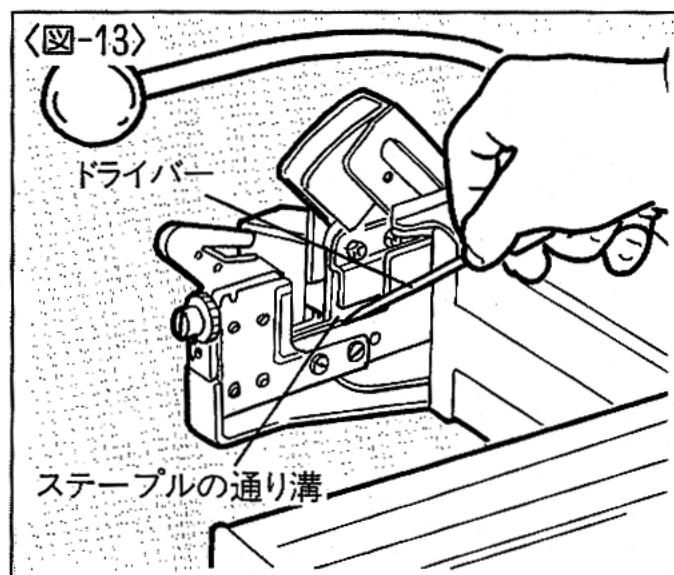
⚠ 警告

- ステープルづまりを直す時は、必ずステープル及びマガジン抜き、指で行わず、ドライバー等の工具を使用する。

- 誤って2度打ちをしてしまった場合など、ステープルの通り溝に残留したステープルを取り除く時は絶対に指で行わず、ドライバー等の工具を使って行ってください。

〈図-13〉

なお、どうしても取り除けない時は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に修理に出してください。



⚠ 警告

●カッタ交換のとき、刃の部分には絶対に触れない。

①カッタの交換

カッタが切れなくなった場合には、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱でお買い求めになり、次の手順に従って交換してください。

1)カッタホルダBの止めネジ2本をはずし、カッタホルダBを取りはずします。

〈図-14〉

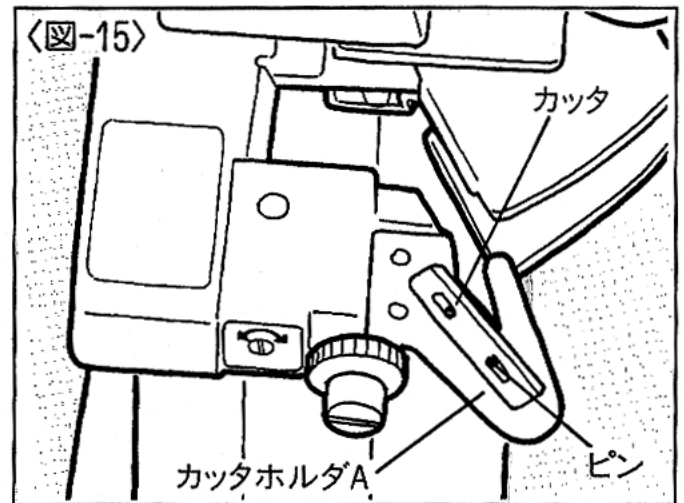
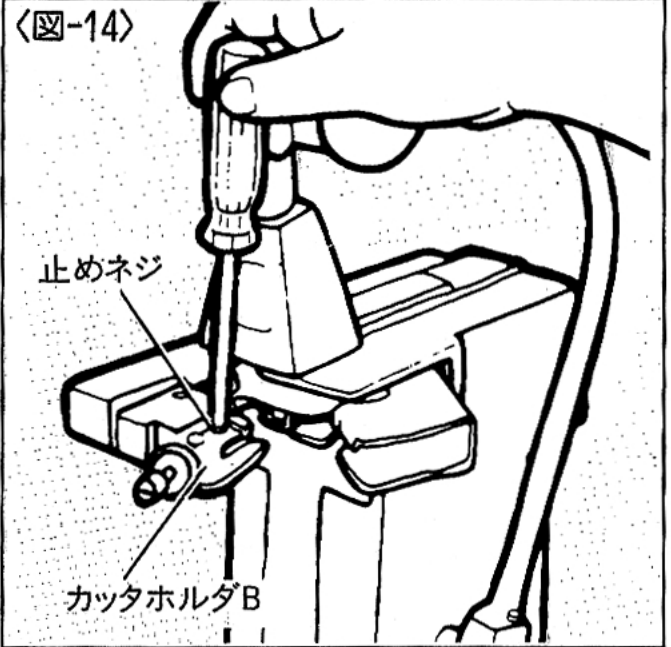
2)刃の部分に注意して、カッタを取りはずします。

〈図-15〉

3)カッタホルダAのピンに合わせて、新しいカッタをセットします。

〈図-15〉

4)カッタホルダBをかぶせて、止めネジ2本をしめれば完了です。



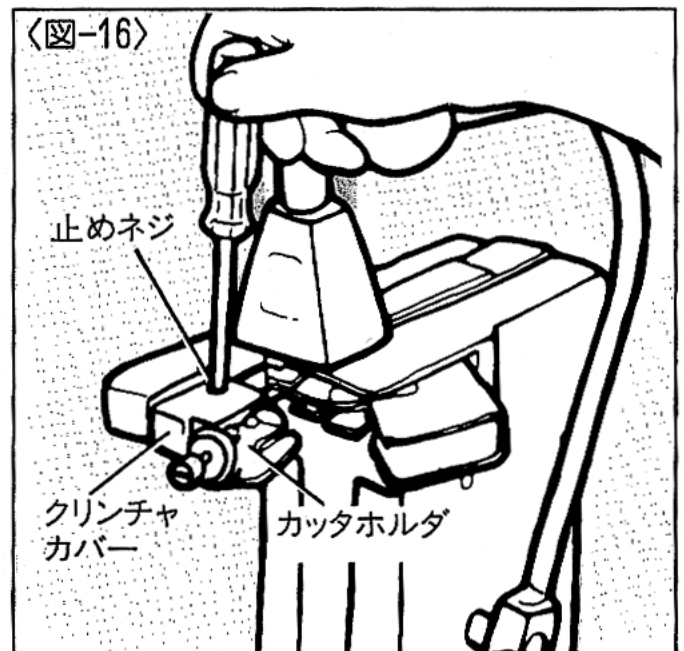
②クリンチャの交換

クリンチャが磨耗すると、とじ不良の原因となります。

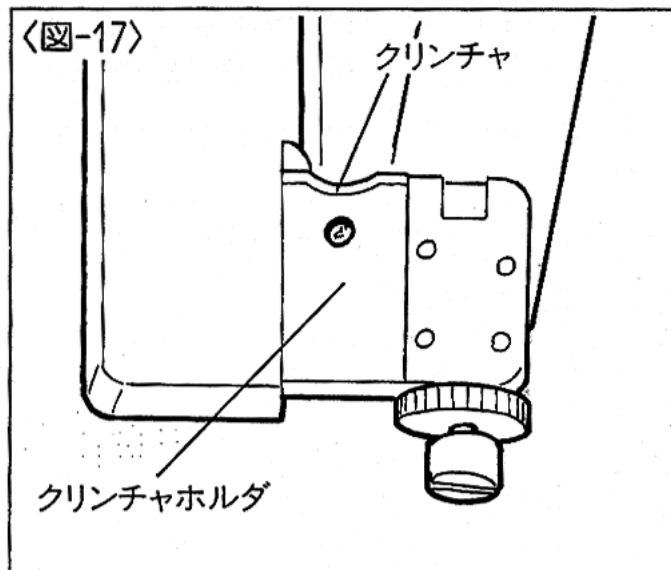
クリンチャの耐久の目安を約5万回とし、次の手順に従って交換してください。

1)クリンチャカバーの止めネジをはずし、クリンチャカバーを取りはずします。

〈図-16〉



- 2) クリンチャを上方向に引き抜き、新しいクリンチャと交換します。〈図-17〉
- 3) クリンチャカバーをかぶせ、止めネジをしめれば完了です。



③ カッタホルダの取りはずし

カッタを使用しない場合には、カッタホルダを取りはずすことができます。

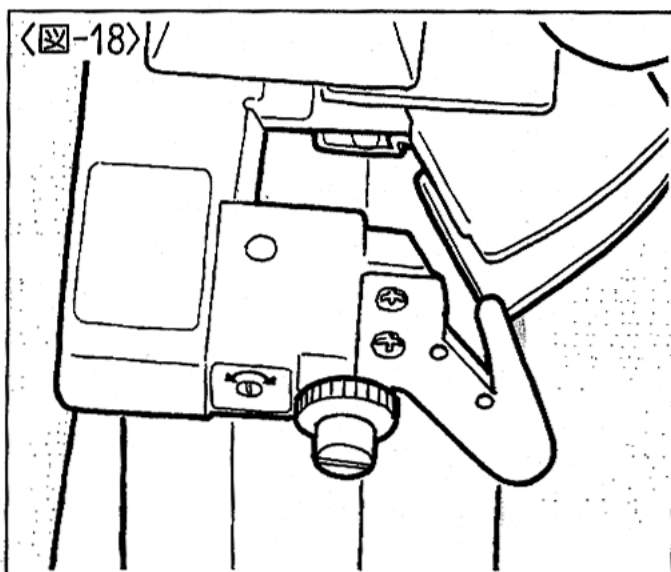
- 1) ②の1)の手順に従ってクリンチャカバーを取りはずします。

〈図-15〉13ページ参照

- 2) カッタホルダBの止めネジ2本をゆるめ、カッタホルダB・カッタ・カッタホルダAをセットで取りはずします。

〈図-18〉

- 3) クリンチャカバーをかぶせ、止めネジ2本をしめれば完了です。



8

性能を維持するために

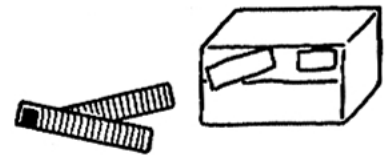
①指定オイルを必ず使用する。

オイルは必ず指定オイルをお使いください。他のオイルを使用すると、作動不良や耐久性の低下につながります。(3.仕様及び付属品参照)



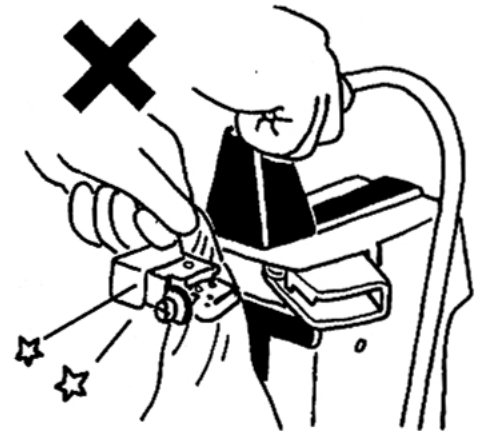
②指定ステープルを必ず使用する。

指定以外のステープルを使用すると、故障の原因になりますので、必ず指定のステープルをお使いください。(3.仕様及び付属品参照)



③2度打ち・空打ち（袋等の結束物を挿入せずにステープルを打つこと）を絶対にしない。

2度打ち・空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因となりますので絶対にさけてください。

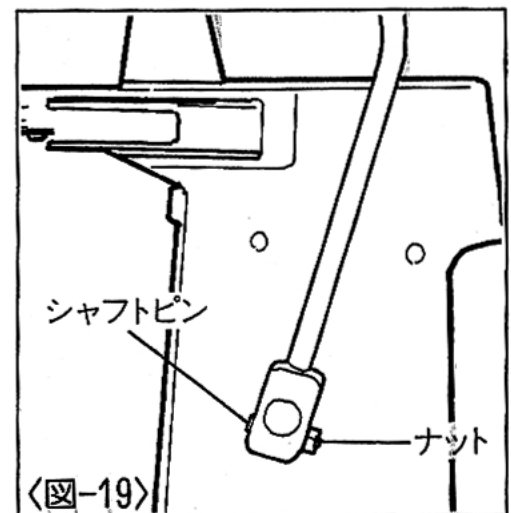


④レバーを無理に動かさない。

レバーを無理に押し下げると、本機の破損やトラブルの原因となりますので絶対にさけてください。

ステープルがつまった場合には、6.ステープルづまりの直し方(12ページ)に従って、すみやかに取り除いてください。

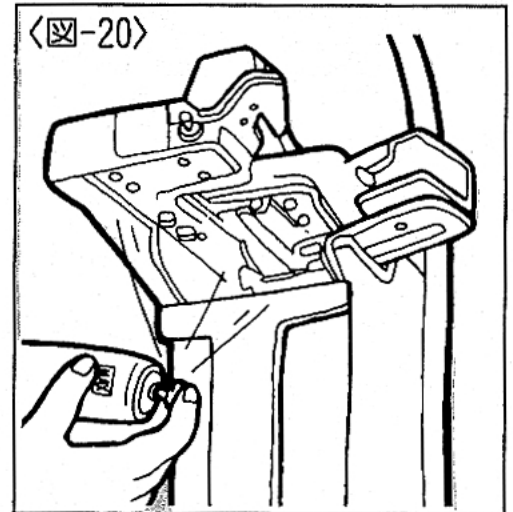
又、レバーのシャフトピンが緩んだ場合には、必ずナットを緩め直してください。 <図-19>



⑤本機を清掃する。

作業終了の時には、本機の性能維持・故障防止のため、次の手順に従って必ず本機を清掃してください。

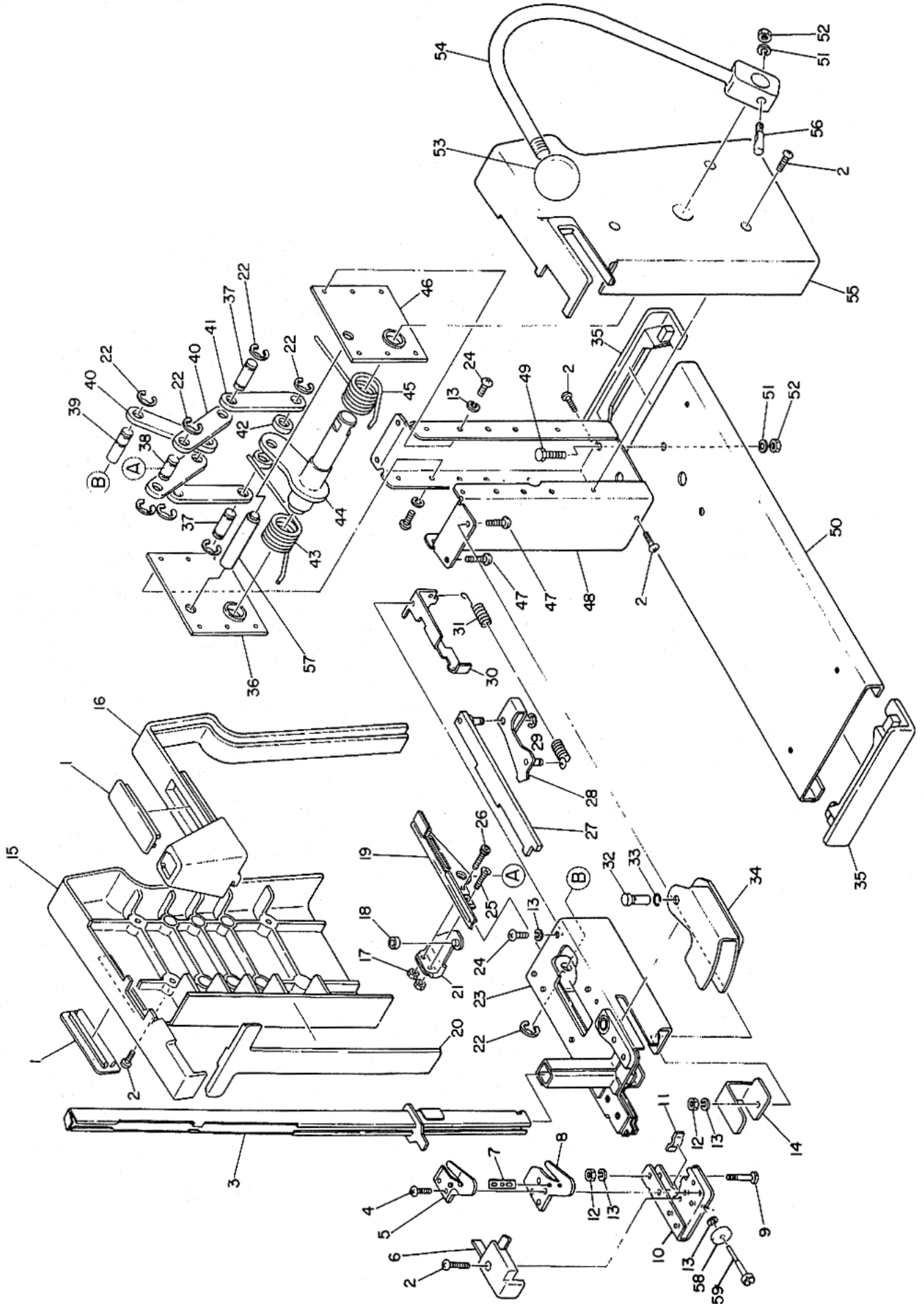
| 用途 | 清掃の仕方 |
|------------------|--|
| 水物包装 (漬物等) | 1)使用後は必ず機械の外側・内部を水洗いしてください。 2)水洗い後しばらく時間をおいてから、パックナーオイルを注油口(キャップシール2ヶ所)及び<図-20>の箇所要充分吹き付けてください。 |
| 青果物等の 水物以外の包装 | 1)使用後のゴミや砂ぼこりをきれいに拭き取ってください。 2)パックナーオイルを注油口(キャップシール2ヶ所)及び<図-20>の箇所充分吹き付けてください。 |



⑥定期的に点検する。

本機の性能を維持するために、部品の交換等を行う必要があります。使用回数10万回を目安にオーバーホールを行ってください。

ご用命はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にお申し付けください。



| 索引番号 | 部品番号 | 部 品 名 | 索引番号 | 部品番号 | 部 品 名 |
|------|----------|-----------------|------|----------|---------------|
| 1 | HR 10273 | キャップシール | 31 | KK 14003 | 引張バネ 4003 |
| 2 | AA 21005 | +, ナベ小ネジ 4×10 | 32 | FF 41260 | 段付ピン 1260 |
| 3 | HR 10278 | マガジンユニット | 33 | HR 10271 | 止メ輪 |
| 4 | AA 21002 | +, ナベ小ネジ 4×8 | 34 | HR 10205 | ポリガイドユニット |
| 5 | HR 10234 | カッタホルダ B | 35 | HR 10227 | ベースゴム |
| 6 | HR 10609 | クリンチャカバー | 36 | HR 10256 | 輪受ユニット A |
| 7 | HR 10059 | カッタ | 37 | FF 30270 | 平行ピン 0270 |
| 8 | HR 10231 | カッタホルダ A | 38 | FF 30252 | 平行ピン 252 |
| 9 | HR 10277 | 固定ネジ | 39 | FF 30269 | 平行ピン 0269 |
| 10 | HR 10228 | クリンチャホルダユニット | 40 | HR 10208 | リンク A |
| 11 | HR 10232 | クリンチャ | 41 | HR 12011 | リンク C |
| 12 | CC 41003 | 六角ナット 1-5 | 42 | HR 10608 | リンクカラー |
| 13 | EE 11113 | バネ座金 2-5 | 43 | KK 34023 | 振りコイルバネ 4023 |
| 14 | HR 10265 | ローラプレートガイド | 44 | HR 10605 | メインシャフトユニット |
| 15 | HR 10611 | カバー L | 45 | KK 34024 | 振りコイルバネ 4024 |
| 16 | HR 10242 | シール B | 46 | HR 10257 | 軸受ユニット B |
| 17 | CC 41002 | 六角ナット 1-4 | 47 | AA 21011 | +, ナベ小ネジ 5×12 |
| 18 | HR 10204 | ローラ | 48 | HR 10215 | ロワフレーム |
| 19 | HR 10198 | ドライバユニット | 49 | BB 71002 | 六角ボルト 6×18 |
| 20 | HR 10241 | シール A | 50 | HR 10224 | ベースユニット |
| 21 | HR 10603 | ローラプレートユニット | 51 | EE 11114 | バネ座金 2-6 |
| 22 | JJ 10001 | E トメワ 8 | 52 | CC 41004 | 六角ナット 1-6 |
| 23 | HR 10601 | アッパフレームユニット | 53 | HR 10036 | グリップ |
| 24 | AA 21010 | +, ナベ小ネジ 5×6 | 54 | HR 10220 | レバーユニット |
| 25 | AA 22001 | +, サラ小ネジ 4×10 | 55 | HR 10610 | カバー R |
| 26 | BB 40101 | 六角穴付ボルト 4×12 | 56 | HR 10223 | シャフトピン |
| 27 | HR 10290 | スライドドライバガイドユニット | 57 | HR 10614 | リンクストッパ |
| 28 | HR 10268 | シーケンスプレートユニット | 58 | HR 10236 | ロックナット |
| 29 | JJ 10002 | E トメワ 5 | 59 | HR 10235 | 調節ネジ |
| 30 | HR 10270 | ガイドストッパ | | | |

●部品のご注文は必ず部品記号でお願いします。